

示 現 会 会 報

一般社団法人 示 現 会

会員総会関連

一般社団法人示現会定時会員〔書面〕総会報告

日 時 2023年 3 月 7 日（火曜日）

場 所 東京都北区中里一丁目17番 4 号 当法人会館 2 階会議室

総会成立の確認

この時点での正会員数は、379名、出席正会員数は、5 名〔理事長・監事 2 名・庶務係 2 名〕、議決権行使書面による出席者270名、その総数は275名であり定款の定めるところの総正会員等の議決権を有する正会員が出席し、更に議決権行使書面をも含めましてその定数に達しており総会が成立している旨を確認しました。

会議の目的事項

報告事項

2022年度（自2022年 1 月 1 日 至2022年12月31日）事業報告の件

事業報告概要

75周年記念示現会展は、更なるコロナ禍にもかかわらず開催の是非を慎重に検討した結果、実施内容のひとつひとつ課題を洗い出し結果として「密」を避けられない事業（出品者懇親会、打上、写生会、夏季講習等）は中止としつつも徹底した感染症防止策の実施により記念展覧会として開催に漕ぎつけることができました。それは示現会の関係者等を含めコロナ感染者を絶対出さないという強い信念からでした。

しかし一方では実施できなかった事業の影響と高齢化から、会員の会離れが一番の悩みでした。いかに絵を描くモチベーションの低下を克服してもらうか、会への関心を持続し仲間としての居場所づくりが難しくなるのではとの懸念が一番の心配でした。

そうした中で、会の現状、コロナ禍における仲間の工夫した活動状況をできるだけ多く発信する「事務局だより」の継続的発行を行いました。

また、作品研究会は会館での密状態を避けた写真によるリモート作品研究会を実施しました。

そして前回、前々回同様、コロナ禍ではありましたが、精魂を込めた作品群の展示をすることができ会場が一段とにぎわいを見せ予想を上まわると観覧者数を得られたことが従前にも増して各支部はじめ皆さんとの結束感、絆が築けた年でした。

■会員数

	2022.1.31時点	75周年 昇格者	2023.1.31現在
正会員	393	38	381
準会員	156	33	134
会 友	117	35	107
計	666		622

1. 展覧会の開催状況〔(事業) 定款第 4 条〕

(1) 展覧会（75周年記念示現会展）

2022年 4 月 6 日～ 4 月18日 於 国立新美術館

- ・示現会展授賞式 4 月 6 日．授賞者42名．
- ・入場者数 12,562名（第74回展より30％回復）
- ・ポスター類の配付先：正会員・準会員・会友の他、美術大学、美術専門学校、全国画材店及び画廊他
- ・広報：ホームページ・リーフレット発行・各種美術誌・美術新聞等に展覧会開催広告、公募要領掲載
- ・授賞者・入選者等名簿をホームページ掲載及び報道関係に通知送付
- ・搬入、陳列状況

総搬入数 751点．入選者数 145点（初入選 51点）

(2) 75周年記念示現会巡回展（同期間 ※印＝公募展、交流展含む）

- ※ 5 月 3 日～ 5 月 8 日 岐 阜 展（於 岐阜県美術館）
陳列点数 87点 入場者数 2173名
応募者数 27名 応募点数 27点
- 5 月10日～ 5 月15日 福 岡 展（於 福岡市美術館）
陳列点数 100点 入場者数 2215名
- 5 月17日～ 5 月22日 熊 本 展（於 熊本県立美術館分館）
陳列点数 80点 入場者数 1661名
- ※ 5 月24日～ 5 月29日 北 九 州 展（於 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー）
陳列点数 90点 入場者数 953名
応募者数 22名 応募点数 26点
- ※ 6 月 1 日～ 6 月 6 日 和 歌 山 展（於 和歌山県民文化会館）
陳列点数 83点 入場者数 790名
- ※ 6 月17日～ 6 月21日 徳 島 展（於 あわぎんホール 徳島県郷土文化会館）
陳列点数 108点 入場者数 1020名
応募者数 23名 応募点数 24点
- ※ 6 月29日～ 7 月 3 日 山 形 展（於 山形美術館）
陳列点数 91点 入場者数 850名
- ※ 7 月27日～ 7 月31日 青 森 展（於 青森市民美術展示館）
陳列点数 71点 入場者数 410名
- ※ 8 月30日～ 9 月 4 日 京 都 展（於 京都市京セラ美術館）
陳列点数 107点 入場者数 1726名
応募者数 10名 応募点数 13点
- 10月 9 日～10月15日 長 岡 展（於 長岡市美術センター）
陳列点数 66点 入場者数 929名
- 10月25日～10月30日 名 古 屋 展（於 愛知県美術館）
陳列点数 94点 入場者数 3670名
- ※11月23日～11月27日 金 沢 展（於 石川県立美術館）
陳列点数 82点 入場者数 1670名
応募者数 19名 応募点数 19点

(3) 支部展、等（※印＝公募展含む）

2月3日～2月9日	徳島支部展	（於 あわぎんプラザギャラリー） 陳列点数 38点 入場者数 810名
2月8日～2月13日	京都作家展	（於 京都市美術館別館） 陳列点数 33点 入場者数 542名
※2月15日～2月20日	愛知支部 三河展	（於 刈谷市美術館） 陳列点数 30点 入場者数 650名 応募者数 9名 応募点数 14点
※5月17日～5月22日	熊本支部展	（於 熊本県立美術館分館・ギャラリー） 陳列点数 88点 入場者数 1692名 応募者数 98名 応募点数 114点
※6月2日～6月7日	和歌山支部 会員展・ 仲間たち展	（於 和歌山県民ギャラリー） 陳列点数 22点 入場者数 790名 応募者数 14名 応募点数 14点
6月28日～7月3日	兵庫支部展	（於 イーグレひめじ） 陳列点数 30点 入場者数 657名
※7月18日～7月23日	新潟支部展	（於 長岡市美術センター） 陳列点数 47点 入場者数 685名 応募者数 13名 応募点数 11点
※7月27日～7月31日	青森支部展	（於 青森市民美術展示館） 陳列点数 81点 入場者数 410名 応募者数 7名 応募点数 10点
7月29日～8月3日	石川県支部 小品展	（於 グリーンアーツ） 陳列点数 25点 入場者数 110名
8月10日～8月14日	長野県支部展	（於 上田市立美術館サントミュージゼ） 陳列点数 14点 入場者数 400名
※10月25日～10月30日	愛知支部展	（於 愛知県民ギャラリー） 陳列点数 48点 入場者数 3670名 応募者数 21名 応募点数 21点
※11月9日～11月14日	久留米西部 示現会展	（於 久留米市美術館館） 陳列点数 90点 入場者数 1103名 応募者数 16名 応募点数 16点
※11月15日～11月20日	福岡支部小 品展	（於 福岡市美術館） 陳列点数 86点 入場者数 1006名 応募者数 42名 応募点数 54点
11月18日～11月22日	ひょうごの 作家たち展	（於 こうべまちづくり会館ギャラリー） 陳列点数 30点 入場者数 519名
11月24日～11月28日	岐阜正会員展	（於 岐阜市民会館ギャラリー） 陳列点数 80点 入場者数 438名
11月30日～12月4日	福井 若越美術展	（於 鯖江市まなべの館） 陳列点数 50点 入場者数 284名 応募者数 18名 応募点数 19点
11月30日～12月5日	和歌山支部展	（於 和歌山県民ギャラリー） 陳列点数 60点 入場者数 350名
12月6日～12月11日	京都小品展	（於 京都府立文化芸術会館） 陳列点数 31点 入場者数 473名

2. 研究会の開催状況

(1) 研究会

【本部 作品研究会（公益事業）】

・1月16日	リモート研究会にて講師陣の講評	参加者72名
・2月20日	リモート研究会にて講師陣の講評	参加者109名
・6月5日	リモート研究会にて講師陣の講評	参加者57名
・7月17日	リモート研究会にて講師陣の講評	参加者66名
・7月21日～25日	夏季講習会 新型コロナ禍のため中止	
・9月11日	リモート研究会にて講師陣の講評	参加者92名
・10月2日	リモート研究会にて講師陣の講評	参加者86名

【本部 特別作品研究会（公益事業）】

・10月3日	示現会会館開放にて講師陣の特別講習	新型コロナ禍のため中止
・10月4日	示現会会館開放にて講師陣の特別講習	新型コロナ禍のため中止

【各支部活動 作品研究会】

《青森支部》	1月下旬	リモート作品研究会	参加者11名
	2月下旬	リモート作品研究会	参加者11名
《山形支部》	2月26日	作品研究会	参加者25名
	8月6日	作品研究会	参加者20名
《新潟県支部》	1月30日	作品研究会	参加者27名
	2月27日	作品研究会	参加者18名
	3月27日	作品研究会	参加者7名
	7月31日	作品研究会	参加者20名
	9月4日	作品研究会	参加者6名
《長野県支部》	3月初旬	作品研究会	新型コロナ禍のため中止
《福井支部》	2月26日・27日	作品研究会	参加者10名
	毎月第2土曜（鯖江）、第1・第3日曜（若狭）	3～7名	
《岐阜支部》	2月26日	作品研究会	参加者25名
	2月27日	作品研究会	参加者15名
《愛知支部》	1月16日	作品研究会	参加者27名
	2月26日	作品研究会	参加者38名
《京都支部》	2月7日	作品研究会	参加者30名
	8月29日	作品研究会	参加者29名
	12月5日	作品研究会	参加者30名
《兵庫支部》	1月29日・30日	作品研究会	新型コロナ禍のため中止
	7月30日・31日	作品研究会	新型コロナ禍のため中止
	10月9日	作品研究会	参加者22名
《和歌山支部》	2月27日	作品研究会	新型コロナ禍のため中止
	10～12月	月例研究会	参加者12名
《徳島支部》	1月9日	作品研究会	新型コロナ禍のため中止
《福岡支部》	1月16日	作品研究会（北九州）	参加者11名
	1月23日	作品研究会（福岡）	参加者22名
	2月6日	作品研究会（福岡）	参加者20名
	2月27日	作品研究会（福岡）	参加者23名
	3月5日	作品研究会（北九州）	参加者12名

	7月4日・5日	作品研究会（福岡）参加者38名
《久留米支部》	2月13日	作品研究会
	3月6日	作品研究会
	10月23日	作品研究会
《熊本支部》	3月6日	作品研究会 参加者26名
	7月30日・31日	作品研究会 参加者17名
	12月4日	作品研究会 参加者17名

(2) 風景・人物写生研修会

【本部】 5月 春季写生研修会 新型コロナ禍のため中止

【各支部】 本部同様、各支部において実施。

《青森支部》	10月下旬	写生会 奥入瀬溪流 参加者3名
《山形支部》	5月19日・20日	写生会 鶴岡市三瀬 参加者8名
《新潟県支部》	10月16日・17日	写生会 魚沼・神湯温泉 参加者10名
《長野県支部》	6月中旬	写生会 新型コロナ禍のため中止
《石川県支部》	4月23日	写生会 手取川河口 参加者9名
《福井支部》	6月5日	モデルデッサン会 参加者6名
《岐阜支部》	9月3日	裸婦デッサン会 参加者31名
	10月9日	静物写生会 参加者20名
《愛知支部》	5月15日・16日	写生会 三重県相差 参加者14名
《京都支部》	5月21日	裸婦デッサン会 参加者21名
	10月29日	写生会 滋賀県八幡堀 参加者18名
《兵庫支部》	5月29日	写生会 神戸元町方面
《徳島支部》	10月	写生会 台風のため中止
《福岡支部》	6月	ヌードデッサン会 参加者6名
	11月23日	ヌードデッサン会 参加者9名
	12月11日	着衣デッサン会 参加者9名
《熊本支部》	10月9日	人物デッサン会 参加者16名

3. 新人育成のための研究所の運営状況

絵画の基礎的な力の養成を目標に、一般に開放するアトリエです。

また専門家を志す方、趣味として生活にうるおいを深めようとする方々にも、自由かつ真剣に楽しく研究できる施設として提供している。

人体写生（裸婦・着衣） 油彩、水彩、静物、風景 大型作品制作	午前の部10：00～12：30 午後の部13：30～15：30
--------------------------------------	------------------------------------

4. 美術に関する研究及び調査

- (1) 冬季・夏季・秋季・春季 各作品研究会を通しての絵画表現研究
作者の制作意図に基づき作品の講評、指導を実施
- (2) 春季（写生旅行会）・夏季 研究会（夏期講習会）により野外・人物写生による表現の研究 新型コロナ禍の為中止
- (3) 巡回展指導、支援
巡回展時における本部より役員を派遣し出品作品について講評会、陳列指導等を実施
各支部においても更に幹部を中心に各種研究会 新型コロナ禍の為中止箇所あり

- (4) 会誌掲載文による指導、研究
 - ・理事長 巻頭言・作品
 - ・75周年記念示現会展を終えて
 - ・75周年記念特別企画 75周年の歩み
 - ・75周年記念展スナップ
 - ・役員寄稿 75周年に寄せて
 - ・コロナ対応と75周年記念展
 - ・各係・研究所・支部だより
 - ・第3回奨励展
 - ・受賞者・昇格者・新会員・新準会員・新会友・初入選者
 - ・私のモチーフ・私の写生地
 - ・日展入選者
 - ・追悼文
 - ・係より連絡、報告類
 - ・研究所案内

5. 会誌及び美術に関する図書等の発行

- ①会誌（2022年12月発行） B5版 48ページを下記の要領で実施
発行部数：1,250部
配付先：正会員・準会員・会友をはじめ一般出品応募者、過去の出品応募者、研究所生、元会員のご遺族、更には広報活動用として必要に応じて多方面に配付
- ②事務局だよりの発行 正会員・準会員・会友・一般応募者
- ③75周年記念画集の発行 正会員・準会員・会友・図書館等

6. その他目的を達成するために必要な事業 他

総会・理事会・委員会 関連

- (1) 定時会員総会
 - ・2022年3月8日 2021年度事業報告・決算の承認・除名者の承認
 - ・各支部で各々支部総会実施
- (2) 理事会
理事会
 - ・2月15日 会員総会関連 付議事項並びに報告事項の承認
事業計画案・予算案の承認・他
 - ・3月27日 展覧会審査鑑別関連
 - ・3月29日 展覧会 賞・昇格関連
 - ・3月31日 理事会 巡回展関連
 - ・9月30日 臨時理事会（書面）展覧会助成金・奨励金制度新設
 - ・11月2日 臨時理事会 2023年の進め方
- (3) ホームページ更新により下記事項を実施
 - ・事務所・支部・会員一覧
 - ・示現会史
 - ・展覧会・作品研究会・年間予定
 - ・絵画研究所
 - ・事業報告・トピックス等の活動案内と各種情報適時開示
- (4) 会員名簿発行 2022年5月

決議事項

第 1 号議案 2022年度（2022年1月1日から2022年12月31日）貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）承認の件

議長は、別紙決算資料に基づき説明され、次いで監事 大瀧弘子より別紙のとおり監査を実施しその結果、重大な瑕疵とは認められなかったのでこれらの書類を綿密に調査したところ、いずれも性格かつ適正であることを認めた旨報告がなされ別段の異議無く承認可決されました。

＜次頁へ続きます＞

令和4年度 貸借対照表

令和4年12月31日現在			
一般社団法人 示現会			
(単位:円)			
科 目	当 期 末	前 期 末	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	62,282,136	76,290,945	△ 14,008,809
本 部 現 金 預 金	38,995,303	53,139,488	△ 14,144,185
研 究 所 現 金 預 金	727,005	641,668	85,337
支 部 現 金 預 金	22,559,828	22,509,789	50,039
未 収 会 費	857,000	1,620,000	△ 763,000
未 収 金	0	93,500	△ 93,500
前 払 金	1,388,140	914,420	473,720
仮 払 金	0	81,940	△ 81,940
棚 卸 資 産	2,236,639	2,089,456	147,183
流動資産合計	66,763,915	81,090,261	△ 14,326,346
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基 本 財 産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
減 価 償 却 引 当 資 産	10,250,440	8,530,294	1,720,146
特定資産合計	10,250,440	8,530,294	1,720,146
(3)その他固定資産			
土 地	127,920,000	127,920,000	0
建 物	15,754,025	16,614,159	△ 860,134
什 器 備 品	557,075	749,634	△ 192,559
その他固定資産合計	144,231,100	145,283,793	△ 1,052,693
固定資産合計	164,481,540	163,814,087	667,453
資産合計	231,245,455	244,904,348	△ 13,658,893
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	605,117	498,149	106,968
前 受 金	6,000	518,500	△ 512,500
前 受 会 費	5,000	60,000	△ 55,000
預 り 金	267,084	322,658	△ 55,574
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	0
未 払 消 費 税 等	0	370,900	△ 370,900
流動負債合計	953,201	1,840,207	△ 887,006
負債合計	953,201	1,840,207	△ 887,006
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	230,292,254	243,064,141	△ 12,771,887
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(10,250,440)	(8,530,294)	(1,720,146)
正味財産合計	230,292,254	243,064,141	△ 12,771,887
負債及び正味財産合計	231,245,455	244,904,348	△ 13,658,893

令和4年度 正味財産増減計算書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

一般社団法人 示現会

(単位:円)

科 目	本 部	研 究 所	支 部	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
入 会 金 収 入	4,320,000	0	0	4,320,000
会 費 収 入	36,239,000	0	7,084,500	43,323,500
事 業 収 益	5,031,640	1,584,000	8,555,950	15,171,590
受 取 寄 附 金	0	0	683,600	683,600
受 取 利 息	404	4	165	573
雑 収 益	1,175,000	0	486,850	1,661,850
経常収益計	46,766,044	1,584,004	16,811,065	65,161,113
(2)経常費用				
事 業 費	36,823,267	1,427,117	17,114,739	55,365,123
管 理 費	20,385,511	74,889	2,107,477	22,567,877
経常費用計	57,208,778	1,502,006	19,222,216	77,933,000
当期経常増減額	△ 10,442,734	81,998	△ 2,411,151	△ 12,771,887
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,442,734	81,998	△ 2,411,151	△ 12,771,887
一般正味財産期首残高				243,064,141
一般正味財産期末残高				230,292,254
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				230,292,254

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

(2)固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定額法

②無形固定資産

定額法

(3)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
減価償却引当預金	8,530,294	1,720,146	0	10,250,440
小計	8,530,294	1,720,146	0	10,250,440
合計	18,530,294	1,720,146	0	20,250,440

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
基本財産	10,000,000		(10,000,000)	
小計	10,000,000	0	(10,000,000)	0
特定資産				
減価償却引当預金	10,250,440		(10,250,440)	
小計	10,250,440	0	(10,250,440)	0
合計	20,250,440	0	(20,250,440)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	24,458,634	8,704,609	15,754,025
什器備品	1,153,058	595,983	557,075
合計	25,611,692	9,300,592	16,311,100

監事 大瀧 弘子 印

監事 三杉 和子 印

監 査 報 告 書

私たち監事は、当法人の令和4年1月1日から令和4年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容
- 各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議等に参加し、執行状況について報告を受け必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について監査いたしました。
- さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））について監査いたしました。

2. 監査意見
- (1) 事業報告等の監査結果
- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。
- (2) 計算書類の監査結果
- 計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

附議事項

第2号議案 除名者承認の件
下記定款（抜粋）の条項に該当する者
議長は、当該者からの弁明の状況を受け今回は該当なしにて説明があり
ここにおいて、別段の意義なくこれを承認された。

以上を持って議事のすべてが終了したので、議長は閉会を宣した。